

Go Global, Engineering Students!

2022



キャンパス内での活動から留学まで

未来につながる今必要な国際交流

Message

工学系研究科長・工学部長のメッセージ

染谷隆夫

工学系研究科長・工学部長



私は20年前、米国のベル研究所で有機トランジスタを研究していました。世界中から優秀な科学者が集まり、そして競いあう中で、様々なことを経験しました。また、海外から日本を見ることの重要性を知りました。

海外での生活に限らず、皆さんが将来進学して研究を続ける場合も就職する場合も、英語はいつでも必要です。どのような環境にあっても、英語で困らないために、今からアクションを起こして下さい。これまで皆さんは長年、英語を学習してきており、基礎力は十分にあります。英語を実

際に使う訓練を少し積み、そして僅かな勇気があれば、世界を相手に臆せず行動をとることができるはずです。

工学部・工学系研究科は、英語の実践力を磨くための様々なプログラムや授業を用意しています。学内のプログラムに参加するだけでなく、思い切って短期・長期で海外留学して力をつけることもできます。本パンフレットが、皆さんが世界への一歩を踏み出すきっかけとなることを願っています。

若くして海外に出る重要性

高鍋和広

工学系研究科・工学部 国際戦略タスクフォース座長



自分は高校時代から大学教員(研究者)に憧れ、大学時代は大学の教員になるためには何が必要かを考えて過ごしました。その一つが「英語」を道具として利用したコミュニケーションでした。大学3年の夏にバイトで貯めたお金で初めてパスポートを作り、MITやハーバード大学を見たいという思いでボストンに語学留学に行きました。そこで、様々な国籍の人が退路を断って勉学に励んで大学に必死に入ろうとしていることを実感し、ますます危機感のようなものを覚えました。また、歴史が今活きており「自分が日本人であること」をより強く意識することになり、さらに「世界地図って日本が中心にないんだ」と気付かされました。そして「自分の言葉で話し説得すること」が重要であると思いました。

修士の途中からは交換留学制度を利用して、オランダで博士課程における新テーマを設けて旅立ちました。日本に帰り学位を取った後は、カリフォルニア大学バークレー校に博士研究員として赴任する機会をいただき

ました。「外国人になる」「マイノリティになる」ことに全く抵抗がなくなっていた私は、化学システム工学専攻で特任助教を2年した後、お話をいただいたサウジアラビアの新興大学院大学KAUSTへの赴任を決めました。

海外では若くして独立した研究室を運営できる環境が整っています。最低限の「根性」と「コミュニケーション力」があれば、皆さんはどこでも活躍できると思います。我々の提供するプログラムは、皆さんが国際リーダーシップを発揮できるように考えられたカリキュラムで構成されています。ぜひこのガイドを活用されて、ご自身のキャリアプランに役立てていただければと思います。



学生の声(アンケートから抜粋)

海外での研究や就職という選択肢も十分にあるという視座を得た。
(東大-MIT国際講義参加学生)

様々な国から来た優秀な学生と親交を深めたことで、自分も負けていられないと日々目的意識を持って過ごすことができたようになった。(交換留学参加学生)

Withコロナ時代でも、国を超えて交流が出来るという経験や自信になった。(オンライン国際交流プログラム参加学生)

初海外ということできざまな体験が私には新鮮だった。自分の今いる環境を相対化でき、自分の英語の課題を見つけることができ、長期留学を考えるきっかけとなった。(工学部短期学生海外派遣プログラム参加学生)

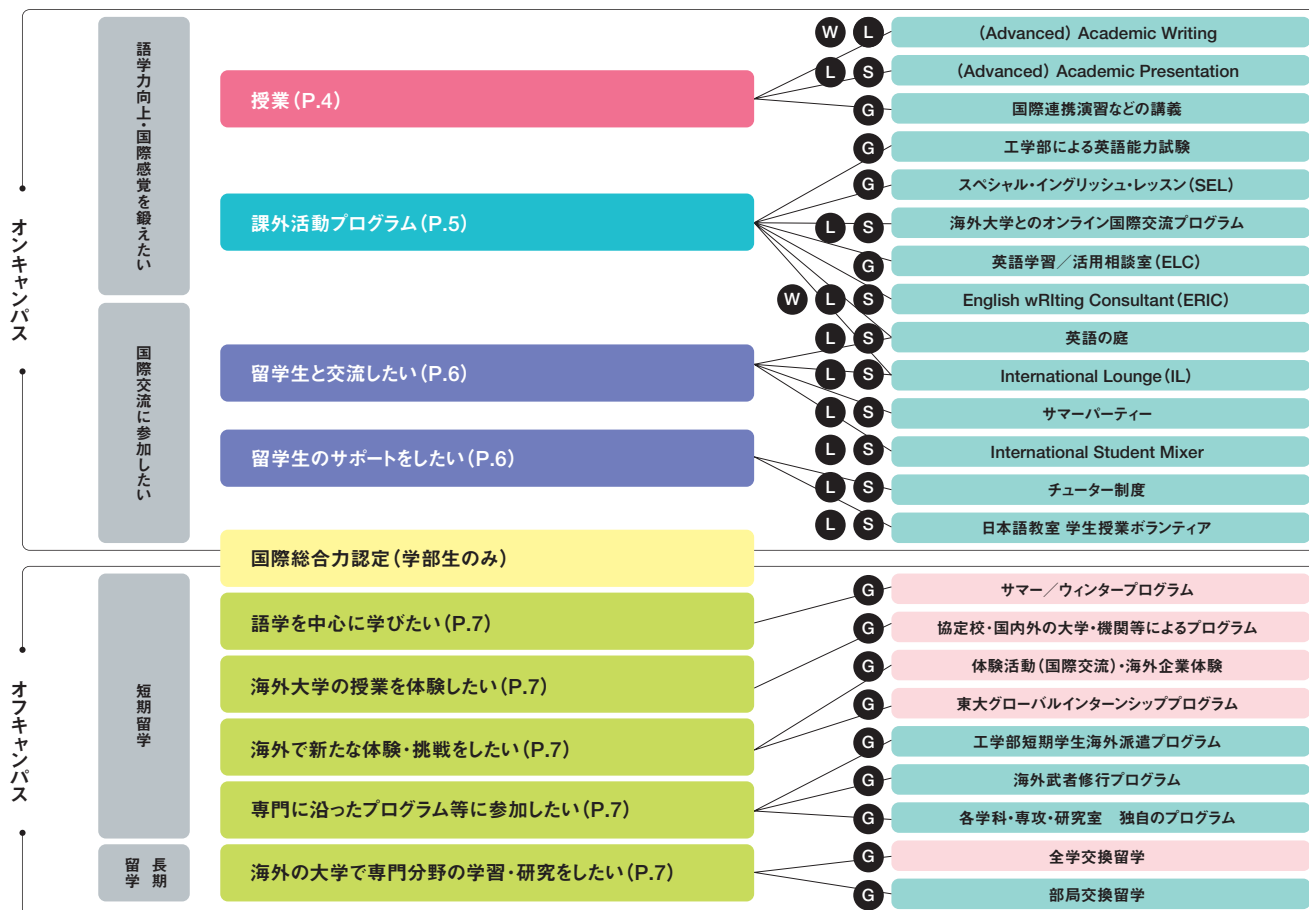
今まで受けてきたレッスンの中で、熱意、クオリティ、量どれをとっても最高のものだった。このレッスンを受けて良かったと心から思えた。これからも夢に向かって頑張りたい。(スペシャル・イングリッシュ・レッスン参加学生)

Program List & Timeline

▶ 国際関連プログラム一覧

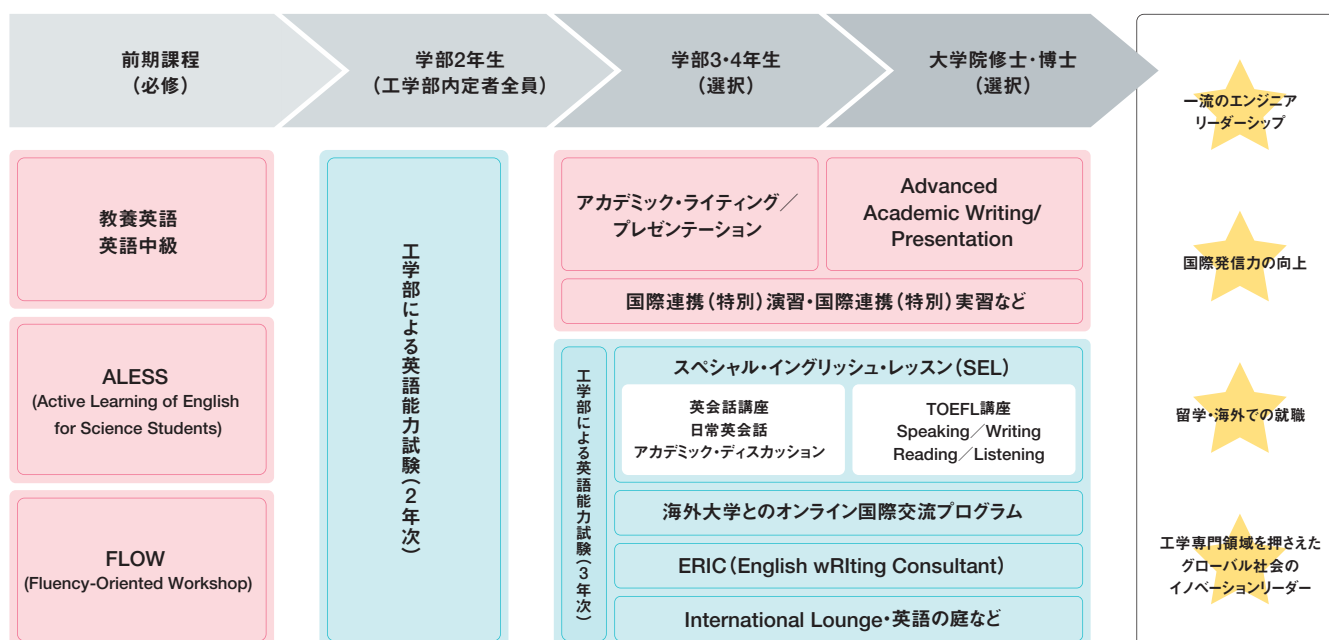
全学で実施
工学部・工学系研究科で実施

R Reading
 W Writing
 L Listening
 S Speaking
 G 総合



▶ 工学部・工学系研究科 国際関連プログラム タイムライン

授業
課外活動



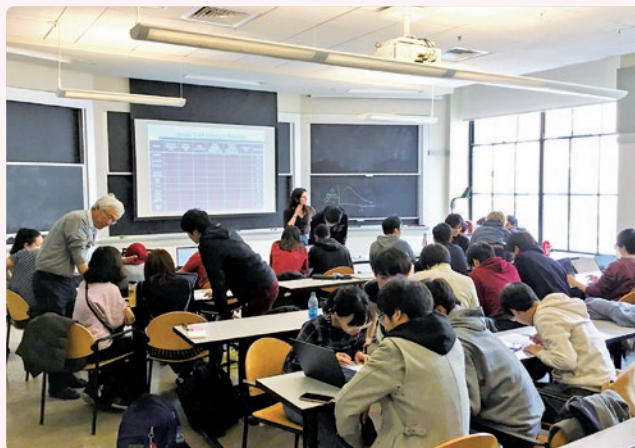


Courses

国際・英語関連の授業

工学部・工学系研究科は、英語学習や国際的な経験ができる授業の開講に力を入れており、海外の学生と共に学ぶ授業もあります。興味に合わせて授業を履修し、まずは「学内留学」してみませんか。

①募集時期 ②実施日時 ③概要 ④参照URL



(Advanced) Academic Writing



①履修登録期間 ②S1/A1 ③アカデミックライティングの基本的性質と書き方などの講義・演習。S1のアカデミックライティングの授業は日本語で開講され、学部生・大学院生が対象。A1のAdvanced Academic Writingは英語で開講され、大学院生が対象。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/awap.html>

(Advanced) Academic Presentation



①履修登録期間 ②S2/A2 ③ネイティブスピーカー講師の指導による少人数クラスでの口頭発表の演習形式で、英語での口頭発表能力の強化を図る。上記のアカデミックライティング、Advanced Academic Writingを受講し単位を取得した学生のみ受講可能。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/awap.html>

国際連携演習S/A I-X(学部)、国際連携特別演習S/A I-X(大学院)、 国際連携実習I-X(学部)、国際連携特別実習I-X(大学院)

①履修登録期間 ②授業により異なる ③本学学生の国際力を強化するため、国を跨いだ学生の国際対話、PBL型の演習、リビングラボなどを取り入れた多様なハンズオンを含む演習科目を実施。オンライン／オンサイト、集中、分散など多様な実施形態がある。2022年度に想定される科目(予定):「国際衛星設計プロジェクト」「遠隔操作ロボット」「国際理解とコミュニケーション」「グローバル共創型イノベーションプログラム」「コンピュータ支援言語学習」「日本橋スマートシティ・デザイン演習」「UT-Caltech COIL型教育プログラム」「国際コミュニケーション」④UTAS参照

東大-MIT国際講義(UT-MIT International Lecture)



①履修登録期間 ②2月～3月。夏頃、受講者から選抜しMITを訪問 ③マテリアル(高分子・金属・半導体など)と応用(医療・省エネ・環境など)をテーマに、マサチューセッツ工科大学(MIT)の学生と英語で議論する講義。MITへの学生派遣・MITからの学生受入もある。海外経験がなく、英語に自信がない学生でも受講可。学部2-3年生対象。④ <http://ja-coil-weng.t.u-tokyo.ac.jp/>

日韓集中講義(国際連携(工学)特別講義)^{※1}／日韓遠隔交換講義^{※2}



①※1 決まり次第UTAS等で通知 ※2 履修登録期間 ②科目により異なる、年1～2回開講 ③日韓集中講義は工学系研究科とソウル国立大学の間で互いに講師を派遣し、日韓遠隔交換講義(大学院学生対象)は両校をオンラインで結び、授業を開講する。テーマは毎回異なる。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/ut-snu.html>

Visualizing Japan in the Modern World



①履修登録期間 ②A集中 ③MIT提供のedXの教材を基にした体験型授業。近代国家としての日本の誕生を物語る画像を見て、日本の歴史を学ぶ。フィールドトリップも行い、講義や学生同士の活動は英語で行う。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/vj.html>



Extracurricular Activities

課外活動

授業以外にも、東京大学ならではの、工学部・工学系研究科ならではのクオリティで、レベルに応じ、様々な時間に多様なプログラムが用意されています。この恵まれた環境を活用し、どう未来への一步を踏み出すか、皆さんの手にかかっています。

①募集時期 ②実施日時 ③概要 ④参照URL

工学部による英語能力試験 (iTEP Academic-Plus 測定版)

①工学部内定生：秋頃、学部3年生：冬頃(2021年の例) ②年1回 ③該当の学年全員が、英語力を90分で測定できる試験(TOEFL換算可能)を期間内の自由な時間にオンラインで受験でき、終了後は高精度なフィードバックが送付される。工学部の支援により無料。(通常料金は1万円以上) ④学生・院生用情報ポータルサイトおよびUTASにて周知

スペシャル・イングリッシュ・レッスン (SEL)

①主に4月上旬・10月上旬 ②主に学期中の平日夕方～夜間 ③国際工学教育推進機構の監督の下、外部英語学校を学内に誘致し、東大生の英語力向上を目指すプログラム。各種の講座がキャンパス内で開講され、受講料も比較的低価格に設定されている。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/sel/index.html>



海外大学とのオンライン国際交流プログラム

①主に学期の開始時 ②プログラムにより異なる ③工学系研究科と交流のある海外大学(MIT、スウェーデン王立工科大学、ミュンヘン工科大学など)の学生と、オンラインで言語交換や文化交流等を行うプログラム。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/olcep/index.html>



英語学習／活用相談室 (ELC)

①随時(予約不要・先着順) ②(オンライン)毎週木曜日12:10～13:00 ③「英語を習得する」「英語を活用する」というゴールに到達する最適なルートについて、各自の目的、志向、興味に応じた学習方略などについて教員に相談することができるほか、英語に関する質問を何でも受け付ける。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/elc.html>



English wRiting Consultant (ERIC)

①随時 ②主に火曜日・木曜日17:00～18:00 ③専門のトレーニングを受けた東京大学の留学生が、科学英語論文(学会発表、学会誌掲載論文など)やキャリアドキュメント(履歴書や留学書類)に対し書き方のコツの指導やフィードバックを行う。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/eric/>



英語の庭

①随時 ②随時 ③公募で選ばれた東大留学生TAがペアを組み、1人または友人同士のペアのゲストと英会話を行うオンラインプログラム。1セッション15～30分程度。初心者から上級者まで対応可。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/garden.html>





Exchange Events

留学生との交流イベント・留学生へのサポート活動

工学部・工学系研究科では、60以上の国と地域から、1,300名以上の優秀な留学生在学しています。この日本有数のグローバルな環境をいかして、日本に居ながらにして世界への扉を開いてみましょう。

①募集時期 ②実施日時 ③概要 ④参照URL



International Lounge (IL)

①随時 ②毎週金曜日12:10～13:10 ③異文化交流に関心のある日本人学生・留学生・教職員が、留学生および日本人LA (Language Assistants) のサポートも受けつつ、各自持参のランチを食べながら、自由な話題で気軽に英語、日本語、その他の言語による会話を愉しめる交流の場。出入り自由、2021年はオンラインで実施。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/il.html> / <https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/ja/activities/icyou/>

サマーパーティー

①不定期 ②年1回 ③大勢の留学生と日本人学生たちが交流する夏の一大イベント。けん玉や習字など様々な日本の文化を紹介したブースがあり、スイカ割などのイベントで毎年盛り上がる(※2020年度以降は新型コロナウイルス感染状況を鑑み休止)。④ https://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/topics/setnws_201907111645595097158893.html (2019年度の様子)



International Student Mixer

①不定期 ②年1回 ③留学や海外に興味のある在校生と、日本人学生と交流したい外国人留学生や渡日前の入学予定者がお互いに多様な考え方や海外での生活に触れ、相互理解・コミュニケーションにつながることを目的とした対話型オンライン交流イベント。④ https://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/event/setevt_202107071015536511556399.html (2021年度の様子)



チューター制度

①年2回(4月および10月) ②随時 ③同じ研究室内の渡日したばかりの留学生に対して、日常生活・研究・授業などをチューターとして支援する制度。チューターの学生には規定の謝金が支払われる。④所属する研究室に確認

日本語教室 学生授業ボランティア

①S/A開始前+随時 ②学期中 ③初～上級レベルのいずれかのコースに参加し、日本語や英語で留学生をサポートする。グループワークやペアワークへの参加、口頭発表準備などのサポート、文化イベントへの参加などを通して、留学生と交流できる。

④ <https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/ja/activities/volunteer/>





Study Abroad Programs

海外留学・体験プログラム

海外との交流が盛んな東京大学、工学部・工学系研究科では、世界各国50校以上のパートナー大学に授業料不徴収で交換留学することが可能です。休暇中に短期間で参加できるプログラムも用意して、皆さんをお待ちしています。※東京大学の正規課程の学生が対象。

①募集時期 ②実施時期 ③概要 ④参照URL

工学部短期学生海外派遣プログラム [工学部] [4週間程度]



①7月～ ②翌年2・3月 ③英語圏の大学に滞在し、英語学習を軸としながら工学関連の授業の受講、文化交流等を通じて英語能力、国際総合力の向上を目指すプログラム。これまで中・長期の留学・海外滞在歴のない学部生が対象。

④ <http://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/special/index.html>

海外武者修行プログラム [工学部・工学系研究科] [1週間～1ヶ月]



①11月中旬～ ②採択後翌年度の9月末までの間 ③海外著名研究室を訪問するための渡航支援プログラム。訪問先のアレンジは学生自ラ行い、自身の研究成果の発表について一流の専門家からレビューを受けることにより、その後の研究へのモチベーションを高めることを目的とする。④募集情報については、学生・院生用情報ポータルサイトに掲載。 <https://info.t.u-tokyo.ac.jp/index.html>

全学交換留学 [1学期～1年間]



①秋募集：8月下旬～ 春募集：4月下旬～ ②秋募集：翌年の秋学期から1学期／1年間 春募集：翌年の1・2月頃から開始の学期から1学期／1年間 ③交換留学のための学生交流覚書を取り交わしている海外大学に1学期～1年間留学する全学的なプログラム。④ <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

部局交換留学 [工学部・工学系研究科] [1学期～1年間]



①協定校が定める応募期限の1ヶ月前 ②各学期開始時期から1学期／1年間 ③工学部・工学系研究科がその特色を生かして学生交流覚書を締結している工科大学を中心とした海外大学に1学期～1年間留学するプログラム。

④ http://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/exchange/to_partners.html

協定校・国内外の機関等によるプログラム [全学] [数週間～3ヶ月] サマー／ウィンタープログラム [全学] [2～3週間]



<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short.html>

体験活動 (海外プログラム) [全学] [1週間～1ヶ月]・海外企業体験 [全学] [1～2週間] 東京大学グローバル・インターンシップ・プログラム (UGIP) [全学] [2～3週間]



<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/index.html>



Frequently Asked Questions

よくある質問

Q. 留学に行く場合、費用はどのくらいかかりますか？

A. 交換留学の場合は、行く地域にもよりますが、東京大学に授業料を納めていれば留学先での授業料は不要となりますので、渡航費用や生活費などは必要ですが日本で生活するのとあまり変わらない程度の費用で留学することも可能です。また、協定校の寮が利用できる場合が多く、奨学金制度も充実しているので費用を抑えることが可能です。サマープログラム等短期留学の場合、費用はプログラムによって大きく異なります。ほぼ無料で参加できるものから、数十万円のプログラムまで様々ですので、よく調べて参加プログラムを検討してください。

Q. 奨学金の情報はどこで入手できますか？

A. 工学部・工学系研究科に届いた奨学金情報については、「学生・院生用情報ポータルサイト」に掲載しています。全学規模で募集される奨学金については、各学部・研究科で締め切りが異なったり、独自の追加書類の提出が必要な場合もありますので、必ずポータルサイトをこまめにチェックするようにしてください。また、海外留学に関する奨学金は、奨学金の募集が留学プログラムの募集より先に実施されるケースもありますので、早めに情報収集を開始することをお勧めします。（学生・院生用情報ポータルサイトに掲載されている海外留学のための奨学金情報について不明な点がある場合は、下記OICEまでお問い合わせください。）

Q. 海外留学プログラムに関して、新型コロナウイルスの影響はどうなっていますか？

A. 新型コロナウイルスによる影響については、プログラムにより対応状況も様々で、また、状況の変化等により予告なく変更される可能性がありますので、ウェブサイト等で最新の情報を確認するようにして下さい。プログラムによってはオンライン形式での実施となっているものもあります。オンラインプログラムには、渡航手続き不要、短時間集中型で効率的に学べる、費用の面でも挑戦しやすい等のメリットもありますので、対面での海外留学が通常通り可能になるまで、選択肢の一つとして上手く活用していただければと思います。

Q. 国際交流活動に関して情報を集めるために役立つウェブサイト等がありますか？

A. 主なものとして下記ウェブサイトには、国際交流活動に関する情報が多数掲載されています。

【工学部・工学系研究科】

国際工学教育推進機構 国際教育部門 <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/>

国際推進課 国際交流チーム (OICE, Office of International Cooperation and Exchange) <http://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/>

学生・院生用情報ポータルサイト(学内ネットワークからのみアクセス可能) <https://info.t.u-tokyo.ac.jp/index.html>

【全学】

東京大学海外留学情報 <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/index.html>

東京大学国際総合力認定制度 <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-gateway/ja/index.html>

また、各学科・専攻において専門分野に応じた個別のプログラムが実施されていることもありますので、各学科・専攻事務室にご確認ください。